

第1回 堺・労働者セミナー

第1回 堺・労働者セミナーのご案内

- 日時 8月7日(日) 午後2時から
報告1時間 + 討論1-2時間の予定
- 場所 堺市総合福祉会館
〒590-0078 堺区南瓦町2-1
電話: 072-222-7500
最寄駅 南海高野線 堺東
- 参加費 200円 (資料代・会場費カンパとして)
- 主催 堺・労働者セミナー実行委員会
連絡先: 090-8379-4103 (小林)



※駐車場が狭いため、電車、バスをご利用ください。
南海高野線「堺東駅」下車700m

《テーマ》

アベノミクスで労働者の生活は 本当によくなるのか？

—アベノミクスの正体を暴く—

報告者・小林義昌

「堺・労働者セミナー」を始めるに当たって

バブル崩壊後26年、労働者の生活は悪くなる一方です。実質賃金マイナス、リストラと称しての首切り、非正規雇用の導入による「ワーキング・プア」20~30%の存在(結婚できない、学校に行けない子どもなど無慈悲な状況が社会問題に)、更にブラック企業の横行で長時間労働に苦しめられています。社会保障も、年々健康保険や年金等社会保険の負担増がのしかかっています。百貨店の高級品が馬鹿売れし海外からの「爆買い」があるにもかかわらず消費がマイナスになっているのは、全て労働者の所得が減っていることを表しています。

労働者が虐げられているその根底を明らかにし、そこから抜け出す道を切り開きたいと願い、「堺・労働者セミナー」を始めることと致しました。

堺・労働者セミナー実行委員会

アベノミクスはインフレ景気願望のばらまき政治

戦時中の軍部予算と同様、国家破産・破局への道だ！

参院選、「アベノミクス」だけで自民党圧勝

今回の参院選は、自公を中心としたブルジョア勢力、反動派勢力が非改選の議員もふくめて3分の2以上を占める結果となり、彼らの圧勝に終わりました。安倍はアベノミクスの正否を問う選挙だとして、参院選中も頑強に「憲法」について沈黙を守り続け、アベノミクスの「成功」や「効能」を宣伝、いわば「アベノミクス」だけで勝負し、勝利したのです！

アベノミクスの実態

アベノミクスや黒田日銀の「異次元」の金融緩和政策は、初めは「円安誘導」となり、外資による割安となった株式投資を呼び込み、株価の値上がりや、輸出環境を良くはしました。一見「好景気」をもたらしたかのように錯覚し、安倍は自慢するのですが、しかし実態は、経済成長率は低迷し「貿易立国」が貿易赤字に転落したまま、高度成長を牽引した電機産業は軒並み低迷し、三洋やシャープに至っては、事実上の倒産で買収される事態になっています。好調と言われる自動車も国内では売れず減少し、重点を海外生産に移しています。

3年半を経た今、その偽りの威力と一時の輝きを失い、行き詰まり、効果というより弊害と有害性を暴露し、あらゆる場所で破綻をさらけ出し始めています。株価は低迷し、円安は円高に転じ始め、大企業でさえ経営が悪化し始め、労働者、勤労者の生活の改善はいっこうに進まなかったどころかむしろ悪化し、非正規労働者、つまり一層貧しく、不安定で、未来に希望を持たない、絶望的な状態に追い詰められる労働者、勤労者が激増しました。

アベノミクスの本質は、国家とその経済的な力と機能を動員し、カネをばらまくことで、一時的にインフレ景気やバブル景気を引き起こし、まるで「景気回復」や「経済成長」がやってきたかに幻想させる、邪道の政治であり、政策であって、回避しなければならぬ政治なのです。

1930年代から40年代にかけても、安倍と同様に、日本の国家・軍部は、国債の日銀引き受けという形で「通貨」をいくらでも膨張させる金融・財政体制を作りだし、アジア太平洋戦争をしゃにむに強行しました。しかしその矛盾は敗戦後一挙に顕在化し、ブルジョ

ア階級は国家債務を一掃することなしには、敗戦後の経済を再建することができないという現実直面し、2年、3年にもわたる激しいインフレを呼び込むことによって、労働者、勤労者を徹底的に収奪し、飢餓状態に追い込みました。アベノミクスは、戦時経済と変わらない異常な政策であり、反省もなく戦前と同様の破局への道を突き進んでいます。

民進党・共産は安倍と闘うことができなかった

現代の経済的不況や停滞の原因は、資本主義生産の過剰にあります。より多くの利潤を追い求めた結果、市場の限界に突き当たり品物があふれて売れず、価格が低迷・暴落するのです。ところが、アベノミクスに民共が反対し、それを徹底的に暴露して闘い得なかったのは、民共自身が半ばアベノミクスと共通の政治的、観念的な立場に立っていたからで、両者の違いは、安倍が、そしてマスコミなどが、無内容な経済学(ケインズ主義)を援用したのに対し、共産らがスターリン主義派の“過少消費説”にとらわれていたということだけであって、「消費」や「需要」の拡大や創出がデフレや経済的な不況や停滞を一掃するし、なし得るといった幻想を、従って、国(政府)や日銀を通したカネのバラまきこそが世界を救うという幻想を信じていたという点では全く同じです。原因を見ないで、結果(不況、売れない)ばかりに目を向け、ただ「有効需要」を作り出すことで競争し、その結果は既に1千兆の国債(借金)で国家破産へ突き進まざるを得ないのです。戦前の戦時経済や現在のギリシャの運命にたどり着きつつあります。このような政治を一刻も早く断ち切らねばなりません。

本当の・新しい労働者の党が必要！

私たちは、今の野党つまり民共では安倍自民党の国家主義と反動の政治と闘い、それを粉砕して労働者、勤労者の利益を守り、またその未来を切り開いていくことは決してできないこと、闘う労働者党を再建し、新しく労働者の闘いを、とりわけその政治的な闘争を再開し、広げていく必要性を検討し、議会＝選挙闘争に再び参加し、挑戦することを決定しました。

今こそ民共の墮落した“革新”勢力と手を切り、断固として労働者党を再建し、新しい闘いを開始するために、そして労働者、勤労者の未来と解放への道を切り開くために、「堺・労働者セミナー」に結集して大いに議論しようではありませんか。